



えどがわ

区ホームページ
えどがわ
フォトギャラリー
変化し続ける、江戸川区の
“今”と“昔”の写真集を公開中

問 区政案内係 ☎5662-6168

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

少子高齢化に伴う転換期

新たな「江戸川区像」の実現に着手

平成26年第3回江戸川区議会定例会が、9月25日(木)から10月28日(火)までの会期で開催され、補正予算案などの議案が審議されています。ここでは、今回の本会議冒頭に行われた多田区長の招集あいさつを紹介します。

局地的豪雨に対する治水対策を推進

平成26年第3回区議会定例会の開会にあたり、ごあいさつを申し上げます。

この夏も、台風や局地的豪雨による災害が西日本を中心に発生し、特に、8月20日未明に広島市北部を襲った土砂災害では、74名もの尊い命が一瞬にして奪われる惨劇となつてしまいました。区では現在、区民の皆さまから義援金を募っているところであり、一日も早い復旧・復興を願うばかりであります。



激甚災害に指定された他の豪雨災害も含め、犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。

なお今月10日には、本区でも時間雨量最大94・5ミリメートルという大雨によって、床上浸水などの被害が発生いたしました。区役所周辺や一部地域では道路が冠水するなど、住民の皆さまには不安な夜を過ごされたことと察します。昨今の豪雨は「局地的」という特徴があるため、本区もそのことに重点を置きながら、地域的条件に合った治水対策を進めてまいりてまいります。

少子高齢化対策が本格的に始動

さて、我が国の置かれている状況に目を転じますと、社会構造および人口構造に大きな変容をもたらす国家的な課題として、「少子高齢化」があります。

世界に例を見ない高齢化の進行は、「安心」のよりどころであった社会保障制度に深刻な影響を及ぼそうとしております。このままでは年金や医療、介護などの社会保障経費が急激に膨らみ、今も苦しい国家や地方の財政を一層圧迫することになります。結局のところ、高齢化の進行は財政問題に帰結し、福祉政策の大転換が避けられなくなつてまいります。そうした事態に鑑みまして、現在国は、安定的で持続可能な制度構築に向けた改革を進めているところであり、その財源となる消費税率のさらなる引き上げも、年内に判断される見込みであります。

他方、少子化に伴う人口減少は、日本経済の要であり、かつ高齢人口を支えている現役世代の減少にもつながっていくことから、国民の多くに将来展望を見いだし難い風潮が広がっております。有識者や全国の自治体からも日本の将来を不安視する声が相次ぐ中、今月に入って国は、人口減少の克服と地方活性化に向けての司令塔となる「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、本格的な取り組みを開始したところであります。

50年後も1億人程度の人口規模を維持するという国の目標達成のため、あらゆる世代が力を合わせる必要があります。少子化に歯止めを掛け、人口回復を目指すためには、今後ますます増えていくであろう元氣な高齢者に、子育て環境の充実や地域福祉の増進に力添えをいただくことも想定

人口構造の変化による諸課題への対応を検討

翻って、本区は現時点で人口増加の傾向にはありますが、少子高齢化やそれに伴う人口減少の波は例外なく押し寄せてまいります。2010年に行った人口推計では、0歳から14歳までの「年少人口」が2030年までに2万人減少する一方、「高齢者人口」は4万4000人増え、高齢化率も23%台に突入いたします。

先日の総務省の公表によりますと、現時点における我が国の高齢化率は25・9%であります。これを思えば、本区はなお若い区であると言えるものの、さまざまに急速な変化が予測され、早期に対応を検討し着手していかなければ時機を逸することにもなりかねません。

本区が時代の趨勢に流されることなく、さらなる高みを目指すには新たな「江戸川区像」を描き、その実現に向けて努力をすることが必要となります。これまで述べた人口構造の変化を踏まえ区では、第一に高齢化への対応、第二に少子化への対応、第三に少子化の進行に伴い生じる学校の適正配置の問題、さらには、第四として区役所本庁舎をはじめ老朽化する公共施設のあり方について、今後の主

理想の長寿社会に向けた取り組みを推進

まず、「高齢化」については医療・介護にはじまり、認知症患者の増加や健康状態に応じた住まいのあり方、介護予防などの現実問題に対応していくことが求められております。今後は、医療と介護について「病院・施設」から「地域・在宅」への転換が必要となつてまいります。これらの問題を地域社会の観点から見ますと、社会参加や地域活動の道が開かれ、いざというときのサポート体制があれば、住み慣れた地域で自分らしく生き、必要に応じて医療や介護を受けることのできる理想の長寿社会となるのであります。

そのために本区としては、介護保険の認定率や一人当たりの医療費が低く、年齢を重ねてなお元氣な高齢者が多いという背景を活かし、その特長を団塊世代の高齢化とも効果的に結び付け、変わりゆく社会保障制度への対応とともに施策を再構築していく必要があると考えております。

子育てしやすい環境を整備

一方、「少子化」については、進行に歯止めを掛けることは容易ではありません。長期的に見て重要なことは、制度の充実にも増して、豊かな自然環境や人々の営みを支える施設面の充実、そして子どもを地域全体で育てるといった良き住民性などであろうと考えております。そうした環境が整って



10月1日現在

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎3652-1151(代表) ☎3652-1109 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

27年4月入園 私立・区立 認可保育園・認定こども園(保育園部分)入園児募集

27年4月からの、私立・区立保育園および認定こども園(保育園部分)の入園受け付けを開始します。 ☎保育係☎5662-0066

●対象 集団保育が可能で、保護者の就労や病気などのため、家庭で保育が困難な乳幼児

※27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が始まります。お子さんの保育が必要となる方は、江戸川区から「保育の必要性の認定(2・3号認定)」を受けてください。詳しくは「認定申請の手引き」をご覧ください。

●受付期間 私立保育園1回目⇒11月1日(土)～7日(金)
私立保育園2回目・区立保育園⇒12月15日(土)～22日(金)

●申込用紙「入園のご案内」の配布

受付場所・時間は、10月10日から各保育園・認定こども園・保育係で配布する「入園のご案内」をご覧ください。また、区ホームページでもご覧になれます(申請・申込書類のダウンロードもできます)。内容を確認の上、手続きをしてください。

※今回から、入園申込書と一緒に「支給認定申請書」も併せてご記入いただきます。



保育園運営の変更

◆27年4月から、区立葛西保育園は私立(仮)中葛西おひさま保育園に、区立松島保育園は私立(仮)松島おひさま保育園になります。また、28年4月には、区立清新第二保育園を私立の認可保育園に変更し、運営は「社会福祉法人えどがわ」が行います。

◆27年4月から、区立清新第三保育園・臨海第二保育園の給食調理業務を民間委託します。

私立幼稚園

入園児募集

27年4月に入園を希望する園児(3歳～5歳児)を各私立幼稚園で募集します。各園の概要は、江戸川区私立幼稚園協会ホームページ(☎http://www.eshiyo.com/)をご覧ください。

願書配布期間 10月15日(土)～31日(金)
受け付け開始日 11月1日(土)

☎各私立幼稚園へ

※(土)日の願書配布・入園受け付けは、各園にお問い合わせください。

◎区立幼稚園入園児募集は、広報えどがわ10月20日号でお知らせします。

第62回 江戸川区文化祭

開催期間 10月18日(土)～11月15日(土)

総合文化センター
菊花展 10月20日(土)～11月15日(土)
川柳大会 10月26日(日)
総合芸能祭 11月2日(土)・3日(日)
短歌大会 11月2日(土)
俳句大会 11月3日(日)

タワーホール船堀
華道展・茶会 10月18日(土)・19日(日)
※茶会は19日のみ(¥3席2000円)。
菊花展 10月27日(土)～11月11日(日)
美術展 11月1日(土)～5日(日)
書道展 11月7日(土)～11日(日)

☎江戸川区、江戸川区文化会
☎文化課推進係☎5662-1628

第36回 小松川平井ふるさとまつり

10月19日(日)
9時～16時
(雨天実施)

場小松川小学校、小松川幼稚園、小松川区民館、平井駅北口広場、近隣商店街
内式典(10時30分・小松川小学校校庭)、パレード(民謡流し・鼓笛隊・創作みこし)、模擬店、各種ステージ、ポニー乗馬、ミニSLほか

☎小松川事務所地域サービス係
☎3683-5183



第39回 葛西まつり

10月19日(日)
9時30分～15時30分
(雨天実施)

場葛西区民館、葛西健康サポートセンター、長島1号公園、滝野公園

内式典(13時・滝野公園)、パレード、にじまつつかみどり、ダンス、金魚すくい、スポーツ&ゲームコーナー、芸能発表会、サークル作品展示、模擬店、スタンプラリーほか

☎葛西事務所地域サービス係☎3688-0431



子育てママの再就職準備講座

11月12日(日)・13日(日)10時～11時40分(全2回)

場タワーホール船堀307会議室

内「主婦だけ、仕事だけではない『その間』の働き方」
「情報収集・応募書類の作成方法から採用内定まで」

人再就職を希望する子育て中の女性25人(申込順)

師島谷美奈子 ほか ☎江戸川区

☎10月14日(日)9時から電話で、船堀ワークプラザマザーズコーナー☎5659-8612

※一時保育あり(2歳以上の未就学児10人・10月31日(金)までに要予約)。



第2回 ボランティア入門講座 無料

日場内下表のとおり 人中学生以上の方(申込順)

☎10月11日(日)9時から電話で、えどがわボランティアセンター☎5662-7671

科目	日時(10月)	会場	定員	内容
高齢者施設でのボランティア	22日(日) 13時30分～14時30分	特別養護老人ホームさく	5人	高齢者施設の紹介とボランティアを体験
日本語でボランティア	24日(金) 18時30分～20時			外国人に日本語で日本語を教えている団体の活動紹介と見学
特別支援学級でのお話しボランティア	25日(土) 10時～11時30分	グリーンパレス集会室401	各20人	知的障害のある小学生への「お話し会」の知識や技術を学ぶ
江戸川区の防災と災害時ボランティア	30日(日) 13時30分～15時			江戸川区防災危機管理課の講話と災害時ボランティアを学ぶ

※複数科目の受講も可。講座終了後、ボランティア活動の相談もできます。

特別支援教育に関する講演会

子どもの育ちにそれぞれができること

発達上の課題のあるお子さんとの関わり方について考えます。

11月9日(日)13時30分～16時

場グリーンパレス5階孔雀1 人60人(申込順)

師筑波大学附属大塚特別支援学校教諭・安部博志 ほか

☎10月11日(日)10時から電話で、子ども家庭支援センター☎5662-7204



子育て応援講座

子育ての技術～教える・見守る・ほめる～

「子どもが言うことを聞かない! どうしたらいいの?」と悩んでいる方のための講座です。効果的で具体的な伝え方などを学びます。

11月13日(日)・27日(日)10時～11時30分(全2回) 場勤労福祉会館

人概ね3歳～7歳のお子さんを育てている母または父30人(申込順)

師コモンセンス・ペアレンティング(CSP)トレーナー・山口大輔

☎10月11日(日)10時から電話で、子ども家庭支援センター☎3877-2460 ※一時保育あり(要予約)。



国民健康保険の休日臨時窓口開設 平日に手続きができない方はご利用ください。10月26日(日)9時～15時 場区役所区民課、各事務所 ☎保険料納付・相談、口座振替手続き、被保険者証の更新 ほか ☎収納係☎5662-0795